

<p>【技術の名称】 デザインフィット工法 一部分アンカー接合による枠付鉄骨ブレース耐震補強工法（改定3）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-10号 改3 性能証明発効日：2019年9月27日</p> <p>【取得者】 宇部興産建材株式会社 山陽建設サービス株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造既存建築物の耐震補強に適用する枠付鉄骨ブレース耐震補強工法である。本工法では、引張側と圧縮側の鉄骨ブレースの交差部および鉄骨ブレースと枠材の交差部あるいは水平枠と縦枠の交差部にあと施工アンカーを集中して配置し、同部分および鉄骨枠全周と既存躯体との間に、プレミックスポリマーセメントモルタル（商品名：フィルグリッ）を充填することになっている。なお、あと施工アンカーは、フランジを切断した枠鉄骨ウェブを挟み込んで配置し、あと施工アンカーの本数は、枠付鉄骨ブレースと既存骨組からなる耐震補強架構の必要耐力に応じて決定することになっている。

【改定の内容】

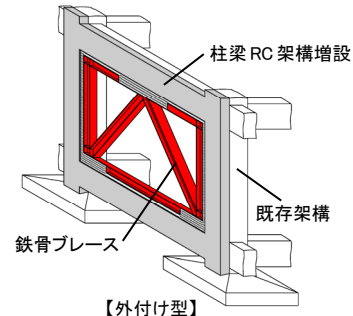
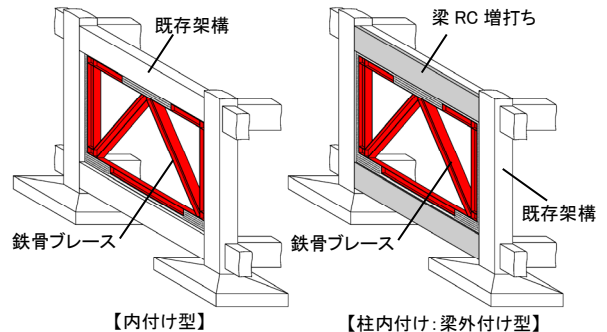
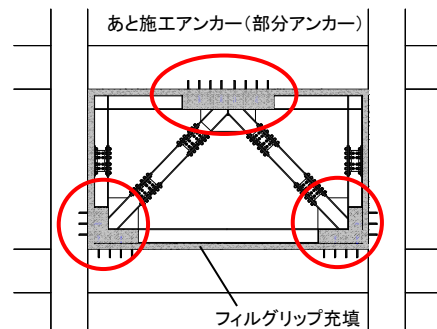
- 新規：GBRC 性能証明 第08-10号（2008年9月2日）
 改定1：GBRC 性能証明 第08-10号 改（2010年11月29日）
- 増打ち架構を増設して枠付鉄骨ブレースを接続する補強形式を追加
- 改定2：GBRC 性能証明 第08-10号 改2（2014年6月11日）
- 既存架構 SRC 造時のあと施工アンカー長さについての構造規定を変更（内付け型のみ）
 - 外付け型のブレース降伏時の靱性指標 F 値の変更
 - 補強ブレースに制振ブレース（二重鋼管座屈補剛ブレース）を追加（内付け型のみ）
 - 既存架構のコンクリート強度の適用範囲を条件付きで拡大（推定圧縮強度 13.5 N/mm²を下回る場合）
- 改定3：GBRC 性能証明 第08-10号 改3（2019年9月27日）
- 申込者の変更（宇部興産建材株式会社）
 - 施工者の要件を追記（宇部興産建材株式会社による指導（工法協会による講習を含む）を受けた者）
 - 梁補強図の追記

【技術開発の趣旨】

従来の耐震補強工事では、多数のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃などや施工時期の制約など種々の課題が発生する。本工法は、間接接合部のあと施工アンカーを集中的に設置して、これらの課題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「デザインフィット工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された既存架構と補強フレームからなる耐震補強架構は、同指針で定める終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標 F 値）を有する。



【本技術の問合せ先】

MU マテックス株式会社 営業本部 デザインフィット事業室 担当者：田中 大瑚
 〒105-0023 東京都港区芝浦 1-2-3 E-mail：daigo.tanaka@mu-cc.com TEL：03-5419-6204 FAX：03-5419-6269